

職層研修「現任研修」(第19回)

【日時】	令和3年2月3日(水)、3月2日(火)、3日(水) 各日 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所等
【受講者数】	70名
【講師】	特別区人事・厚生事務組合 職員 公益財団法人東京都人権啓発センター 大野 精次 氏 株式会社行政マネジメント研究所 松浦 隆久氏・飯森 祐氏・内木場 三保氏
【研修内容】	<p>&lt;目的&gt;</p> <p>職場の中堅職員として、求められる役割・能力を認識し、自己理解・他者理解を深めるとともに、対人関係を円滑にしながら、効率的に仕事を進めるための目標管理意識、タイムマネジメント等を習得する。また、高い意欲を持って問題解決のために取り組む姿勢や実践的な思考法、分かりやすく論理的に伝える技術を学び、中堅職員としての能力向上を図る。</p> <p>さらに、特別区制度やさまざまな人権問題の認識を深める。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>(1日目)</p> <p>① 特別区を知る：一般の自治体との対比を通して特別区の特徴やその経緯、現状と課題について知識を習得する。</p> <p>② 人権研修：さまざまな人権問題についての基本的な知識を習得し、職場や地域におけるさまざまな出来事に対し、人権の視点から捉え、行動できる能力を身につける。</p> <p>(2・3日目)</p> <p>中堅職員としての能力向上</p> <p>① 職場で良好な人間関係を築くために必要なコミュニケーションの重要性を認識し、スキルを学ぶ。</p> <p>② 伝える能力の向上を図るため、相手にわかりやすく論理的に伝える技術を学ぶ。</p> <p>③ 効率的な仕事の進め方を確認するため、目標を管理することを意識してタイムマネジメントを行うポイントを学ぶ。</p> <p>④ 問題解決に向けて物事を体系的に整理するロジカルシンキング等の思考法を学ぶ。</p> <p>⑤ 自己理解・他者理解を向上させる、メンタルヘルスケア、モチベーションアップの手法等を学ぶ。</p> <p>⑥ 求められている役割・能力を認識するため、同僚・後輩に対するリーダーシップ、上司に対するフォロワーシップの基本を学ぶ。</p>
【受講生の声】	<p><b>【特別区を知る】</b></p> <p>・「特別区」とは何かと聞かれても答えることがなかなか難しかったので、都道府県、市町村との違いについて要点を絞って学べたのでよかったです。自分なりにうまく説明できるように今回学んだことを再度振り返っていきたく感じました。</p> <p><b>【人権研修】</b></p> <p>・自分の知らないハラスメントについて知られたことや、LGBTの方は告白しただけで身近な存在であるということに気づけて良かったです。特に後者は、今後意識して仕事にあたりたいと思います。</p> <p><b>【中堅職員としての能力向上】</b></p>

	<p>・説明時、聞きとり時ともに型にはめることで伝わりやすい対話になることがよかった。 今後の業務でも、意識して実践していきたい。</p>
--	---